

分野：経営、観光、地域

人口減少期の地域政策分析と観光地経営戦略立案

中庭 光彦 経営情報学部 教授

<http://www.tama.ac.jp/guide/teacher/nakaniwa.html>

キーワード

地域政策、観光地域経営、コミュニティ、地域プラットフォーム

概要

本研究室では人口減少期の開発について支援を行うため、以下の研究を行っている。

- (1)地域の開発政策史、産業政策研究
- (2)観光地経営の手法とガバナンス・地域プラットフォーム研究
- (3)移動社会と少子高齢化の実態研究
- (4)共有資源管理論（コモンズ論）の研究

人口減少期にあっては従来都市のコンパクト化、拠点サービスの変化とネットワーク化、モビリティニーズの増大が同時に進むことにより、公共サービスの再編成が要請される。それを踏まえ、広域地域システムの中で地域資源を共有資源化し、新たなガバナンス下で新たな魅力を生み出さねばならない。

本研究室ではこうした問題意識に立脚した地域政策、地域プラットフォームの開発と、そこに至る政策企画・評価について様々なケースの調査を行っている。

利用・用途

応用分野

- 1.人口減少期における地方自治体の総合政策の立案～評価。
- 2.観光地域のサービスイノベーション政策立案～実施への支援。
- 3.その他、地域活性化施策全般への支援。

関連論文・著書

- 1.『コミュニティ3.0ー地域バージョンアップの論理』（単著）水曜社、2017年6月
- 2.「多摩地域の戦後水道広域化のあゆみ」（単著）『多摩のあゆみ 第165号』54-65頁、たましん地域文化財団、2017年2月
- 3.『滞日アジア留学生がもつ日本の水魅力イメージ』（単著）ミツカン水の文化センター、2015年2月
- 4.「軽トラ市の観光商圏に関する考察」（単著）『移動流通ー買い物難民を支援する新たな流通社会システム』4-24頁、多摩大学経営情報学部移動流通共同研究プロジェクト、2014年2月
- 5.「住民の生活回復に影響を与える二つのローカルガバナンスー行政によるガバナンスと利用者によるガバナンス：岩手県道の駅の比較を事例にー」（単著）『新たなローカルガバナンスを求めてー多角的アプローチからの試みー』139-156頁、中央大学出版部、2013年3月
- 6.『オーラル・ヒストリー 多摩ニュータウン』（共編著）、中央大学出版部、2010年3月

多摩大学 学長室
206-0022 東京都 多摩市聖ヶ丘4-1-1
TEL:042-337-7300 FAX:042-337-7103
E-Mail: hisho@gr.tama.ac.jp
URL: <http://www.tama.ac.jp/>



TAMA UNIVERSITY
多摩大学